

Trofeo Laigueglia

Laigueglia - Laigueglia (190,7 km)

JCL TEAM UKYOに栄光は訪れず：ゼライが 36位でフィニッシュ



レース期間：3月5日

距離：190,7 km

UCIカテゴリー：1.Pro

参加チーム：25チーム (8 WT, 9 PT, 8 CT)

出走選手数：175人

JCL TEAM UKYOメンバー：アレックス・ファンチェル、マルク・カベド、アンドレア・ダマート、ニコロ・ガリッポ、小林 海、シモーネ・ラッカーニ、ナホム・ゼライ

JCL TEAM UKYO監督：マヌエーレ・ボアロ

レース公式サイト：<https://www.laiguegliaiborgodamare.com/trofeo-laigueglia>

JCL TEAMUKYO公式サイト：<https://jcl-team-ukyo.jp/>



このレースのコースは、ライグエーリアを発着点とする 190.7kmのハードなルート。スタート直後の 23kmは平坦だったが、オンツォへの最初の登りが選手たちを待ち受けていた。その後、ヘアピンカーブの多い長い下り区間が続き、集団の注意が必要なテクニカルなコースとなった。

最初のKOM (山岳ポイント) は57km地点のCima Paravenna。

- 登坂距離: 6.7km
- 平均勾配: 5.7%
- 最大勾配: 12%

この後、ライグエーリアへ戻り、レースは 2回目のフィニッシュライン通過へ。そこからテストニコ峠 (7km、平均勾配4.6%)を超え、再びCima Paravennaを通過してライグエーリアへ戻った。

終盤の10.8kmの周回コースでは、

- 最初の2kmがColla Micheriの登り(平均勾配8.4%、最大勾配14%)
- 急カーブの多い下りとCapo Meleの短い登りが続く

このコース特性を踏まえ、JCL TEAM UKYOはゼライとファンチェルを最終周回まで温存し、登りで勝負する作戦をとった。



レースはスタート直後からハイペースで進行。何人かの選手がアタックを試みるも、集団は逃げを許さずハイペースで展開。

本格的な逃げはアルナスコの登りで形成され、9名が集団から抜け出した。JCL TEAM UKYOは集団で待機し、逃げとのタイム差は最大 4分5秒まで広がった。

UAEチーム・エミレーツXRGがコントロールを開始し、Cima Paravennaでタイム差を縮める。その後、イネオス・グレナディアーズも追走に加わり、集団を引いた。

ライグエーリアに戻った際にペースが一度落ちたが、テストコ峠の登りで再び加速。EFエデュケーション・イージーポストのアタックにより集団は 3つに分裂したが、最終サーキット突入時には再び一つにまとまった。

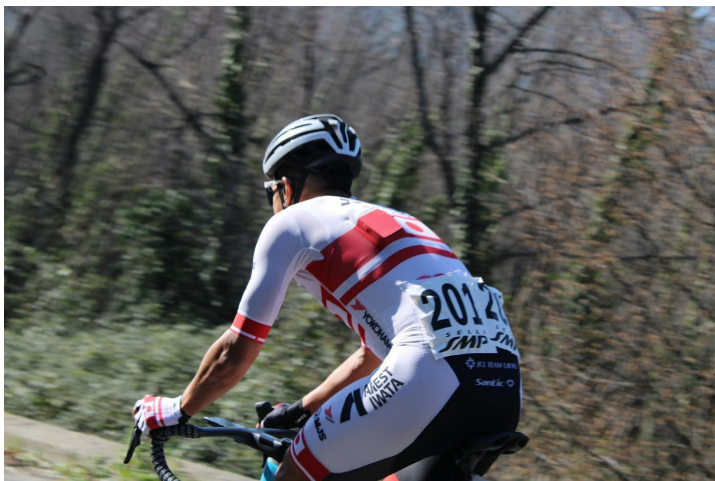
残り2周で逃げが吸収され、JCL TEAM UKYOのゼライ、ファンチェル、ガリッポはメイン集団に残った。

残り21km付近で ニールソン・ポーレス (EF Education)がアタックし、スカローニ (Astana)、モルガド、アユソ (共に UAE)が追走し4人のグループとなるも落ち着かずに何度もアタックがかかる展開。 Colla Micheriの登りでアユソがアタックしスカローニだけが食らいつく。ポーレスとストーラー (Tudor)が下りで合流し4名の先頭グループ形成される。

最終周回でもアユソが再びアタックしスカローニのみが反応、しかし、ポーレスとストーラーが再び追いつき、 4名でのスプリント勝負へ。

スプリント勝負を制したアユソ (UAE)が優勝となった。

JCL TEAM UKYOの選手たちは3周目の終盤で遅れ、ゼライが最後まで粘るも、足を攣り 36位でフィニッシュ。トップチームとの差を痛感させられるレースとなった。





ナホム・ゼライのコメント

「今日は自分の日ではなかった。ステージ優勝したルワンダのレース直後にイタリアへ飛び、すぐにレースに出た影響もあったのか、途中で頭痛を感じ、最後は足が攣ってしまった。残念だけど、次のレースに向けてしっかりトレーニングしていくよ。」



TROFEO LAIGUEGLIA 2025 Result

1. Juan Ayuso (UAE Team Emirates – XRG) in 4h46'36"
2. Christian Scaroni (XDS Astana Team) s. t.
3. Michael Storer (Tudor Pro Cycling Team) s. t.
36. Nahom Zeray (JCL Team Ukyo) +1'57"

JCL TEAM UKYO ならびにこのレポートに関するお問い合わせ: KATAYAMA PLANNING株式会社
田村 遼 (広報) Mail: tamura@kplanning.co.jp TEL: 090-44551-4021
増田 深雪 (広報) Mail: m-masuda@k-planning.co.jp

